

環境科学調査センター

だより

Vol.23



しらべる 名古屋の湿地と生物

つたえる 調査研究発表会を開催します

• なごや環境大学共育講座を開催しました

お知らせ 調査研究発表会を開催します

当センター一研究員による市内の環境に関する調査・研究の成果を発表します。

開催日	時間	研究発表内容
2月16日(金)	13:30~16:00	●名古屋市内で観測されたボーリング試料中の自然由来有害重金属の分布概況とその起源推定 ●名古屋市内水環境中のネオニコチノイド系農薬類の濃度分布 ●大気に関する環境問題における電子顕微鏡の活用 ●風向別に採取したPM2.5からわかること 一化学成分の特徴一
場 所	栄カスホール (中区栄3-15-53カスビル5階)	
定 員	100名(先着順)	
参加費	無料	
申込方法	電話・FAX・電子メールいずれかの方法で下記までお申込み下さい。	

※特別発表会への参加も可能です。
その場合、お申込みの必要はありません。

自由参加 特別講演会

環境省環境研究総合推進事業 時間 16:10~17:40

「都市型 PM2.5 とはなにか？」
有機化学成分を指標としたPM2.5の発生源解析
名古屋大学 環境科学調査センター 研究員 池盛 文数
名古屋大学大学院 環境科学研究科 教授 長田 和雄

なごや環境大学共育講座を開催しました

なごや環境大学共育講座の一環として、11月の11、18、25日の3日間、「実験！体験！体感！かんさようラボ」というテーマで講座を開催しました。参加者の皆さんは、電子顕微鏡などの分析機器を用いて、研究員との意見交換も活発に行われました。



11月11日(土) 生き物に倣え(なら)う！ バイオミメティクスの世界
11月18日(土) PM2.5を測る
11月25日(土) おいしい水ってどんな水？ ～飲み水を科学する～

当センターが実際に測定に使用している分析機器など、様々な水の硬度、pH、電気伝導率の測定などを体験して頂くとともに、分析機と水のおしさとの関係も参加者と一緒に考えました。

施設見学受付しています

編集・発行 名古屋市環境科学調査センター

〒457-0841 名古屋南区豊田五丁目16番8号

TEL 692-8481 FAX 692-8483

電子メール a6928481@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp

ホームページ 名古屋公式ウェブサイト(<http://www.city.nagoya.jp/>)から

環境科学調査センター サイト内検索

この印刷物は、古紙VIBラベルを再生紙を使用しています。

2018年1月

品名：黑毛羊皮

お宝の壺と名

が特徴として指摘されています。

これらの湿地は貴重な動植物の生育・生息場所になっています。



梅田の雑居ビルも、
湿地的な環境

また、東海地方には、地域に固有なものしくはこの地域を分布の中心とする東海丘陵要素と呼ばれる植物群があり、この植物群の多くが湿地性生物増殖所となっています。草本植物ではマメナシ、シデコブシ、ハビノボラ、クロミヨニシゴリなど、草本層ではシラタマホシクサ、ツウカフイモモセンゴケ、ウンヌナゲなどが挙げられます。これらは全国的にみると極めて希少で保護していく必要があります。中でもマメナシは国内では東海地方のみに自生し、現存するものの半数以上が名古屋市内にあるとされていて特に貴重です。

指性湿地の絶滅危惧種等



チゴガニ(十脚目スナガニ科)

挙げられます。

フトヘナタリ(鯨足目フトヘナタリ科)

ソトオリガイ(ウミタケガイモドキ目オキナガイ科)

チゴガニ(十脚目スナガニ科)

绝滅危懼Ⅱ類

海外の種々の文化

湿地に侵入した外来種

ナガエモウセンゴケ
(モウセンゴケ科)
北アメリカの寒帯
に分布する苔類

ムシトリスミレの一種
Pinguicula primuliflora
(タヌキモ科)
アメリカ合衆国東部原産

ハエトリグサ
(モウセンゴケ科)
アメリカ合衆国東部原産

湿地の保全のために

主要な湿地については、フェンスで囲い、立ち入りを制限する等して保護しているものや、公園内にあって市民活動団体が保全活動を行っているものなど、一定の保全対策が講じられていますが、少なからぬ数の湿地がヌマガヤなどの大型草本植物の繁茂で草地化していたり、湧水の減少により乾燥化が進んでいたりと消滅の危機に瀕しています。

*1 草本植物…シダ植物と種子植物のうち地上茎が1～数年で枯れる植物。一般的には「草(くさ)」といいます。

*2 レッドターブックなごや2015-恒例展----

レッドデータブックとは、絶滅の危機にある野生生物について、それぞれの種の生育・生息状況や保全状況、減少要因などの情報を記載した書物です。名古屋版は2004

(平成16)年にはじめて刊行されました。およそ10年で改訂され、最新版は「レッドデータブックなごや2015」と「植物編」と「動物編」の2分冊で構成されます。

この中で新通商部管の分野に応じて解滅・野生解滅・新通商部ⅠA類・新通商部ⅠB類・新通商部Ⅱ類・準新通商部Ⅱ類というカテゴリ（ランク）が設けられています。

*3 維管束植物…維管束(水や養分の運輸と植物体の支持)を持つ植物のことで、シダ植物と種子植物が含まれます。

・4 木本植物…地上部が多年にわたり生存し続け、幹が肥大化する植物。木、樺木。

*6 女士國學刊日誌1902年(1903年改訂版) 女士國學研究會(編)(1904)